

(更新履歴)

2025年6月7日 P.8 卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込み証明書部分を更新

2025年11月25日 「はじめに」の記載内容を一部更新

早稲田大学大学院スポーツ科学研究科



2026年度

修士課程 1年制（秋期・春期）[一般・社会人]
入学試験要項

【お問合せ先】

早稲田大学 所沢総合事務センター 大学院スポーツ科学研究科入試担当

[お問合せフォーム（人間科学学術院・スポーツ科学学術院共通）](#)

※問合せタイトルは、「2026年4月入学修士課程（1年制）」としてください。

【アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）】

スポーツ科学研究科では早稲田大学の教旨に基づき、スポーツ科学分野における新たな知の創造とその活用を通じて、豊かな社会の実現に貢献できる人材を輩出する。特に、グローバルな視座をもち、将来的にスポーツやスポーツ科学の分野を中心に、アジアのファシリテーターとして活躍できる人材を育成することを目指している。そのために、スポーツ科学分野の研究活動を通じて自らの成長のみならず、スポーツひいては社会の発展を成し遂げようという強い意志、そして利他の精神を持った学生を、わが国をはじめ世界から受け入れる。これに加え、博士後期課程の受験生に期待されるのは、スポーツ分野の専門的かつ学際的研究を通してスポーツ科学の知の統合に取り組む意欲である。修士課程、博士後期課程の各種入学試験においては、それまでの学習や研究活動に基づく能力・素養を総合的に評価する。

【カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）】

ディプロマ・ポリシーを学生が達成できるよう、早稲田大学の全学的な教育環境と研究科の研究環境を活用して、以下の方針に基づきカリキュラムを編成する。修士課程では、スポーツ科学に関連する幅広い専門知識を体系的に学修し、広範かつ体系的に専門知識を学修できるようにカリキュラムを編成する。具体的には、以下の科目を提供する。

- ①高度なアカデミックスキルズを体得するための演習および講義
- ②スポーツ科学の専門知識や、専門性の高い研究や実践の手法を学修するための講義や演習
- ③文献資料やデータの解釈をしながら、専門知識を元に学生と教員とが論議することで専門知識の理解を深める演習
- ④自ら設定した課題を主体的に、科学的な手法に則って解決する基盤を修得する研究指導

なお、1年制（エリートコーチングコースを除く）では、社会人が勤務に支障をきたすことなく授業を履修できるように配慮する。

博士後期課程では、幅広い先行研究を批判的に捉えて、学生自らが立てた問い合わせ科学的手法によって解決し、博士論文を作成できるよう、研究指導を行う。博士論文を構成する原著論文や著書の執筆、学会発表についても指導し、国内外に発信するスキルを磨く。高度専門職・研究者としての能力を向上させるように研究指導を行う。

【ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）】

修士課程では、国際的に通用する幅広い専門力、多様な学問・文化・言語・価値観に根差す考え方を分析しながらまとめができる力とリーダーシップを体得し、スポーツ科学の専門性を活かして、様々な社会活動に取り組むことができる人材を養成する。

博士後期課程では、修士課程で修得した専門性やスキルに加えて、卓越した専門力、論理的に説明するスキルを身に付け、既存の学術の枠組みを乗り越えて、自ら設定した高度な問題に挑戦し、スポーツ科学を基礎とした新たな知を発見し、人間社会にとって新たな価値を築くための基礎力を身に着けた人材を養成する。そのため、以下に挙げる項目を修得させる。所定の単位を修得し、学位論文の審査に合格した学生に学位を授与する。

・修士課程

- ①高い倫理観を持って、主体的にスポーツ科学の研究を進めるために必要な高度なアカデミックスキルズ（学術的・知的活動の基礎的手法）
- ②スポーツ科学および周辺学問領域に関する幅広い専門知識
- ③専門性に根差す独創性、幅広い知識やスキルを活用し、根源的あるいは実践・応用的な問い合わせ自ら設定し、解決する力

目次

はじめに

1. 募集人員	1
2. 出願資格	1
3. 出願手続	4
4. 出願書類	6
5. 選考方法	10
6. 合格発表	10
7. 入学手続	11
8. 早稲田大学入学試験受験に際しての注意事項	12
9. 早稲田大学入学試験受験に際しての免責事項	13
10. 試験時間中に使用できる物品・使用を認めない物品について	14
11. 教諭専修免許状（保健体育）の取得について	16
12. 在留資格（留学）の取得について	16
13. 入国前結核スクリーニング制度について	16

●個人情報の取扱について

本学では、志願時に収集した個人情報（住所・氏名・生年月日等）を、入学試験実施、合格発表、入学手続およびこれに附随する業務のために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行います。また、上記業務の全部又は一部を委託する場合があります。その場合、委託先に対し、契約等により、必要かつ適切な管理を義務付けます。本学に提出された書類・資料・論文および提供された情報等（「本提出書類等」といいます。）につき、その真正性等について、本学が発行元・提供元および論文審査機関等に対して、本提出書類等を提供して問合せをすることがあります。志願者は本提出書類等を本学に提出または提供したことをもって、本学がこの問合せを行うことに同意したものとします。これらの他、個人が特定されないように統計処理した個人情報を、本学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用します。

●戸籍上の性別情報の収集について

本学では、入学試験の円滑な実施と入学手続の必要上、合理的理由があると判断される最小限に留め、戸籍またはパスポート等の公的書類上の性別情報を収集しています。パスポート等の公的書類上の性別が男女のいずれでもない方は、出願に先立ち、本入試要項表紙記載の問合せフォームからご連絡ください。性別情報が合否に影響を及ぼすことは一切ありません。

<https://www.waseda.jp/inst/diversity/support/sexual-minority/>

●「携帯電話等」の定義について

この「入学試験要項」では、携帯電話・スマートフォン・タブレット・ウェアラブル端末等の通信機能を持った電子機器をすべて含めて「携帯電話等」と表記しています。

●受験・就学上の配慮について

障がいや疾病等により、就学に際して配慮を必要とする場合は、出願開始日の 1 ヶ月前までに、以下のフォームから申請を行ってください。また、大きな病気やけがのため、受験に支障をきたす恐れがある場合、あるいは出願後にそのような状態になった場合は、本入試要項表紙記載の問合せフォームからすみやかにご連絡ください。

<https://x.qd/PVRFF>

はじめに

この「入学試験要項」は、修士課程 1 年制の一般入学試験（エリートコーチングコース）・社会人入学試験（トップスポーツマネジメントコース、スポーツクラブマネジメントコース、健康スポーツマネジメントコース、介護予防マネジメントコース、スポーツジャーナリズムコース）の計 2 種類の入学試験について掲載しています。手続等を間違えないよう注意してください。

- ◆ 入学後の研究内容や研究環境などのミスマッチを防ぐために、出願前に希望する研究指導の担当教員と>Contactをとり、研究内容に加え研究環境や入学後の具体的な研究活動の進め方（研究活動に要する時間や求められる研究成果など）について十分に相談し確認するようにしてください。
- 指導教員および研究環境は、在学期間を通じて研究活動の基盤となるため、出願前にこれらの点を慎重にご確認ください。
- 実際の研究環境を確認するため、出願前にキャンパスや研究を実施する環境の現地見学を推奨します。

担当教員へは以下の事項を直接メールにて送付してください。

- タイトル：大学院スポーツ科学研究科 事前>Contactについて（ご自身のお名前）
- 本文に記入する事項：
 - 1) 指導を希望する教員名
 - 2) 希望する課程（修士課程 1 年制）
 - 3) 希望する入試形態（一般入試／社会人入試）
 - 4) 氏名・カナ氏名
 - 5) 自身の連絡先（携帯電話番号、メールアドレス等）
 - 6) 教員へ送付したい内容（教員への質問や相談などを詳細に明記すること）
- 送信先メールアドレス：
本研究科 Web サイトに掲載の「大学院スポーツ科学研究科研究指導内容・コード一覧」内に掲載されている各教員のメールアドレス宛に直接連絡してください。また、早稲田大学研究者データベースや研究室 Web サイトを検索し、各教員宛に直接連絡してください。
- ◆ 修士課程 1 年制（トップスポーツマネジメントコース、スポーツクラブマネジメントコース、健康スポーツマネジメントコース、介護予防マネジメントコース、スポーツジャーナリズムコース）の授業（演習科目・講義科目）は早稲田キャンパスおよび東伏見キャンパスで、夜間および土曜日を中心開講します。
- ◆ 修士課程 1 年制（エリートコーチングコース）の授業（演習科目・講義科目）は所沢キャンパスで平日の昼間を中心開講します。

1. 募集人員

40名（秋期・春期 合計）※一般・社会人入学試験の合計。

2. 出願資格

I. 出願資格

入試種別ごとに以下のいずれかの要件を満たすこと。

修士課程 1 年制

入試種別	出願資格
一般	<p>【対象】エリートコーチングコース 以下①から⑥のいずれかに該当する者。</p> <p>① 大学を卒業した者、および 2026 年 3 月までに卒業見込みの者。</p> <p>② 大学評価・学位授与機構により、学士の学位を授与された者、および 2026 年 3 月までに授与される見込みのある者。</p> <p>③ 外国において通常の課程による 16 年の学校教育を修了した者、および 2026 年 3 月までに修了見込みの者。</p> <p>④ 文部科学大臣の指定した者。</p> <p>＜以下⑤⑥該当の場合は別項目【出願資格審査】参照＞</p> <p>⑤ 大学に 3 年以上在学し、または外国において学校教育における 15 年の課程を修了、または 2026 年 3 月までに修了見込みの者で、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したもとの認めた者。</p> <p>⑥ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学までに 22 歳に達する者。</p>
社会人	<p>【対象】トップスポーツマネジメントコース、スポーツクラブマネジメントコース、健康スポーツマネジメントコース、介護予防マネジメントコース、スポーツジャーナリズムコース</p> <p>原則として入学時点で 3 年以上の実務経験を有し、入学までに以下①から⑤のいずれかに該当する者。</p> <p>① 大学を卒業した者。</p> <p>② 大学評価・学位授与機構により、学士の学位を授与された者。</p> <p>③ 外国において通常の課程による 16 年の学校教育を修了した者。</p> <p>④ 文部科学大臣の指定した者。</p> <p>＜以下⑤該当の場合は別項目【出願資格審査】参照＞</p> <p>⑤ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学までに 22 歳に達する者。</p>

※「外国において通常の課程による 16 年の学校教育を修了した者」とは、「日本国外の正規の学校教育における 16 年目の課程を修了した者」という意味です。

※最終学歴が中国の大学の専科（3 年制）の場合には出願資格はありません。ただし、専科を卒業後に本科を卒業して 16 年の学校教育を修了した場合は出願を認めます。

※電話、メール等で出願資格有無の確認・回答は行っておりません。ご自身の出願資格について確認したい場合は、出身大学等に問合せる等、ご自身で確認してください。

※本大学（学校法人早稲田大学が設置する早稲田大学その他の学校をいう。以下同じ。）の教員は、本大学の学籍を有することができませんので注意してください。ただし、規程上認められている場合もありますので、不明点がある場合は所属箇所事務所を通じて本部にお問合せください。

※文部科学省および各都道府県の認可によって設置されている「各種学校」は、出願資格審査が必須です。

ご自身で該当を確認のうえ、出願資格審査に必要な手続を行ってください。（以下、文部科学省 Web サイト URL）

http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/senshuu/main11_a1.htm

II. 出願資格審査

修士課程 1 年制(一般入学試験／社会人入学試験)の出願資格⑤、⑥で出願される方は、正規出願の前に本研究科において出願資格の有無を書類によって審査する出願資格審査を行います。希望者は本研究科 Web サイトを確認のうえ、提出期限に間に合うように必要書類一式を郵送で提出してください。

1) 出願資格審査 書類提出期限【厳守】

[秋期] 2025 年 5 月 19 日 (月) ~ 2025 年 6 月 3 日 (火) 【締切日消印有効】

[春期] 2025 年 9 月 22 日 (月) ~ 2025 年 10 月 14 日 (火) 【締切日消印有効】

2) 出願資格審査 結果通知

[秋期] 2025 年 7 月中旬～下旬、[春期] 2025 年 11 月下旬に申請者のメールアドレス宛に結果を送付します。「資格あり」の場合は、本入学試験要項に従って出願準備を進めてください。

III. 修士課程 1 年制の入学者に求められる要件

本研究科修士課程 1 年制コースの入学判定は、コースごとに以下の要件を前提とし、応募書類の審査を経て、面接試験の成績を加味し、総合的に判定します。なお、コースの要件を満たしているか否か判断が難しい場合は、必ず出願を希望する指導教員へ事前確認を行ってください。

コース	要件
コーチング	以下のいずれかに該当し、トップレベルのコーチング能力の習得・向上に並々ならぬ意欲を有する者。また、同分野に関する修士論文を作成できる基礎的な能力があり、かつ、1 年間の在籍で全ての修了要件を満たすことができる十分な学習・研究能力をもつ者。 ① 選手として特定のスポーツで日本代表の実績を 3 年以上有し、オリンピックあるいは世界選手権等への出場経験を有する者。 ② 選手として特定のスポーツで日本国内のトップレベルのスポーツ競技会に 5 年以上にわたって参加し、入賞等の優秀な成績を収めた実績を有する者。 ③ 指導者として上記①～②に該当する選手をその年齢カテゴリーを問わず 3 年以上指導した実績を有する者、またはある年齢カテゴリーの選手育成において卓越した実績を有する者。
マネジメントスポーツ	以下のいずれかに該当し、トップスポーツビジネスの実務能力の習得・向上に並々ならぬ意欲を有する者。また、同分野に関する修士論文を作成できる基礎的な能力があり、かつ、1 年間の在籍で全ての修了要件を満たすことができる十分な学習・研究能力を持つ者。 ① トップレベル（日本代表等）の実績を 3 年以上有するスポーツ選手。 ② スポーツビジネス関連企業、一般企業、スポーツ団体、プロスポーツチーム、企業スポーツチーム等において、通算 5 年以上の実務経験を有する者。 ③ 弁護士、公認会計士、税理士の資格を有する者。
マネジメントクラブ	以下のいずれかに該当し、スポーツクラブビジネスの実務能力の習得・向上に並々ならぬ意欲を有する者。また、同分野に関する修士論文を作成できる基礎的な能力があり、かつ、1 年間の在籍で全ての修了要件を満たすことができる十分な学習・研究能力を持つ者。 ① 地域スポーツクラブ、民間スポーツクラブ、スポーツ行政、スポーツ団体等において、通算 3 年以上の実務経験を有する者。 ② 一般企業等において 5 年以上の実務経験を有し、スポーツマネジメント関連業務への従事を予定する者。
マネジメント	以下のいずれかに該当し、健康スポーツの普及振興に関わる実務能力の習得・向上に並々ならぬ意欲を有する者。また、同分野に関する修士論文を作成できる基礎的な能力があり、かつ、1 年間の在籍で全ての修了要件を満たすことができる十分な学習・研究能力を持つ者。 ① 運動指導・栄養指導・健康教育等の健康増進の分野での 3 年以上の実務経験を有する者。 ② 一般企業等において 5 年以上の実務経験を有し、健康スポーツマネジメント関連業務への従事を予定する者。 ③ 医師・保健師・看護師・理学療法士・作業療法士等の医療関係資格を有する者。

マネジメント 介護予防	以下のいずれかに該当し、介護予防や中高齢者の健康づくり、有病者のリハビリテーションに関する実務能力の習得・向上に並々ならぬ意欲を有する者。また、同分野に関する修士論文を作成できる基礎的な能力があり、かつ、1年間の在籍で全ての修了要件を満たすことができる十分な学習・研究能力を持つ者。 ① 運動指導・栄養指導・健康教育等の健康づくりの分野での3年以上の実務経験を有する者。 ② 一般企業等において5年以上の実務経験を有し、介護予防関連業務への従事を予定する者。 ③ 医師・保健師・看護師・理学療法士・作業療法士等の医療関係資格を有する者。
ジャーナリズム スポーツ	以下のいずれかに該当し、スポーツジャーナリズムに関する知識・技能の習得・向上に並々ならぬ意欲を有する者。また、同分野に関する修士論文を作成できる基礎的な能力があり、かつ、1年間の在籍で全ての修了要件を満たすことができる十分な学習・研究能力を持つ者。 ① 5年以上にわたってジャーナリズム（報道・評論等）の現場での実務経験を有する者。 ② スポーツビジネス関連企業、一般企業、スポーツ団体、プロスポーツチーム、企業スポーツチーム等において、スポーツに携わるメディアや広報業務に関して通算5年以上の実務経験を有する者。 ③ 上記に相当する能力の証としての具体的実績・作品等を有する者。

IV. 試験日程（オンライン出願システム TAO 上での入力は出願締切日の 17:00 が期限となります）

手続内容	日程		備考
	秋期	春期	
出願資格審査申請	2025年5月19日（月） ～6月3日（火）	2025年9月22日（月） ～10月14日（火）	該当者のみ要申請 2ページ参照
出願資格審査 結果通知	2025年7月中旬～下旬	2025年11月下旬	
受験・就学上の 配慮について	2025年6月23日（月）まで	2025年11月17日（月）まで	
入学検定料納入期間	2025年7月22日（火） ～7月28日（月）	2025年12月16日（火） ～2026年1月7日（水）	<u>振込忘れに注意してください。</u>
出願期間	2025年7月22日（火） ～7月28日（月）	2025年12月16日（火） ～2026年1月7日（水）	オンライン出願システムでの 入力は出願締切日の 17:00までとなります。
受験票の公開予定 ※TAO 上で公開	2025年9月下旬	2026年1月中旬	4ページ参照
試験日	2025年10月4日（土）	2026年1月24日（土）	10ページ参照
大学一斉休業期間 ※事務所閉室日	夏季：2025年8月7日（木）～8月17日（日） 冬季：2025年12月26日（金）～2026年1月6日（火）		左記期間中のお問合せはお 受けできませんので注意して ください。
合格者発表日	2025年10月17日（金）	2026年1月30日（金）	10ページ参照
入学手続案内	2026年1月末日～2月中旬		11ページ参照
入学手続期間	2026年2月中旬～3月上旬		11ページ参照

3. 出願手続

I. 出願にあたっての注意事項

- ・入学後のミスマッチを防ぐために、出願前にご自身の希望する研究指導の担当教員とコンタクトを取り、担当教員とご自身の考えている研究内容などを相談してください。詳細は本入学試験要項の「はじめに」を確認してください。
- ・出願書類に不備や不足書類があった場合は、受験資格を失うことがあります。必要書類が揃っているか十分に確認したうえで出願してください。また本学から連絡があった時は速やかにその指示に従ってください。

II. 出願方法

出願および書類提出は、オンライン出願システム「The Admissions Office」（以下、TAO）から行ってください。TAO の出願方法の詳細は別紙を参照してください。なお、TAO への入力は、出願期間と同一期間となります。TAO での願書提出（出願を完了するボタンをクリック）は、出願期間内に必ず完了するようにしてください。

●出願上の注意事項

- ・TAO 画面上の指示にしたがって入力・アップロードを行ってください。
 - ・出願期間締切日 **17:00（日本時間）** までに TAO での願書提出を完了してください。出願締切日を過ぎて「出願中」のステータスのままになっているもの、もしくは出願締切日を過ぎて「出願完了」になったものについては、いかなる理由でも受け付けません。
 - ・「出願完了」は「出願手続が完了した」ことを指しています。「出願が受理された」ということではありませんので、注意してください。
 - ・ネットワークや PC 等のデバイスの不調が発生し出願が間に合わなかった場合も、本研究科では一切責任を負いません。
 - ・一度出願が完了すると、その後は入力内容や提出書類を修正することができませんので、入力内容や書類の要件等をよく確認のうえ、出願を完了してください。
 - ・出願書類に不備や不足書類があった場合は、出願を受け付けないことがありますので、十分注意してください。また本研究科から連絡があった時は速やかにその指示に従ってください。本研究科からの連絡は、TAO 上のメッセージ機能または登録されたメールアドレスへの連絡とします。常時登録したメールアドレスの受信確認を行ってください。
- ※登録するメールアドレスは携帯電話のアドレスでも構いませんが、迷惑メールフィルタ設定（PC からのメールの受信拒否等）などで本研究科からのメールが到達しない可能性があります。迷惑メールフィルタ設定などによりメールが到達しなかった場合でも、本研究科は一切責任を負いません。
- ・出願時に TAO 上で提出していただく証明書類（卒業証明書・成績証明書等）は、機関が発行した紙媒体の証明（原本）をスキャンした PDF データとします。合格後、入学手続の際には、当該スキャンデータの原本を提出してください。（ただし、卒業見込証明書を提出した場合は卒業証明書と最新の成績証明書を提出いただきます。）入学手続締切日までに証明書の原本を提出できない場合、あるいは出願時に提出されたスキャンデータと内容が異なるものが提出された場合は、入学手続未了とみなし、入学許可を取り消すことがありますので、あらかじめご了承ください。ただし、PDF データで発行された証明書を提出することも可とします。その場合、入学手続の際は発行大学から本研究科の入試担当まで直送での証明書データ提出を認めますが、出願時の段階であらかじめ本入学試験要項表紙記載のお問合せフォームからお問合せください。
 - ・すべての書類は原則**日本語**で作成してください。それ以外の言語で作成された書類は受け付けません。

III. 受験票の公開

出願受付後、出願が受理された志願者に対し、TAO 上で受験票を公開します。試験実施日の **3日前**にあっても受験票が確認できない場合は、速やかに**本入学試験要項表紙記載のお問合せフォームからお問合せください**。受験票は、入学後学生証の交付時に必要となりますので、大切に保管してください。なお、受験票公開後でも、出願書類に不備や不足書類等があった場合は、受験資格を失うことがあります。

IV. 入学検定料

課程	入試種別	入学検定料納入金額	
		秋期	春期
修士課程 1 年制	一般入学試験	30,000 円	30,000 円
	社会人入学試験		

入学検定料の納入は必ず指定期間中に行ってください。入学検定料を納入していない場合、出願は一切受け付けません。また、期間を過ぎての納入はいかなる理由でも一切受け付けません。

● 入学検定料の免除

次に該当する場合、入学検定料が免除となります。詳細は本入学試験要項表紙記載のお問合せフォームからお問合せください。

経済協力開発機構（O E C D）の開発援助委員会（D A C）が発行する、O D A 受給国リストに最貧国または低所国として掲載された国（以下「最貧国等」という。）に居住し、かつ最貧国等の国籍を有する者（重国籍の場合はいずれの国籍最貧国等であること。）が、本大学大学院研究科への入学を志願する際、本人から検定料免除の申請があった場合。

● 入学検定料の支払い方法や注意事項

入学検定料の支払い方法には ①コンビニエンスストアでの支払い、②クレジットカード・中国オンライン決済による支払いの 2 つの方法があります。以下①または②の手順を確認のうえ、納入してください。①または②での支払いが困難な方は、事前に本入学試験要項表紙記載のお問合せフォームからお問合せください。

①コンビニエンスストアでの支払い

- ・入学検定料は最寄りのコンビニエンスストアで支払ってください。
- ・コンビニエンスストアでの支払いに際しては、事前にパソコンもしくは携帯電話よりインターネット上の「入学検定料コンビニ支払いサイト」（<https://e-shiharai.net/Syuno/Index1.html>）にアクセスをして所定の申込手続を完了させる必要があります。
- ・決済完了後、『入学検定料取扱明細書』の「収納証明書」部分を PDF 化し、オンライン出願システム「The Admissions Office」（TAO）にアップロードしてください。
- ・詳細は本研究科 Web サイトに掲載されている「コンビニエンスストアでの入学検定料支払方法」を確認してください。
- ・支払いは、土日・祝日を問わず、24 時間いつでも可能です。ただし、納入期間最終日の「Web サイトでの申込」23:00 まで、コンビニエンスストア店頭での支払手続は 23:30 までとなりますので注意してください。

※出願締切は出願締切日の 17:00 となるため、出願締切日の 17:00 までに TAO に収納証明書をアップロードできるようお支払いください。

※家族・知人が代理で手続きをする場合でも、必ず志願者本人の情報を入力するようにしてください。

②クレジットカード・中国オンライン決済による支払い

- ・クレジットカード・中国オンライン決済での支払いに際しては、パソコンもしくは携帯電話等により「インターネット上の支払いサイト」（<https://e-shiharai.net/Card/>）にアクセスをして所定申込手続を完了させる必要があります。
 - ・決済完了が表示されたWebページをPDF化し、「The Admissions Office」（TAO）にアップロードしてください。
- ※支払いは、土日・祝日を問わず、24 時間いつでも可能ですが、出願締切は出願締切日の 17:00 となるため、出願締切日の 17:00 までに TAO に収納証明書をアップロードできるようお支払いください。
- ※支払いに使用するカードは志願者本人以外の名義でも構いません。ただし、家族・知人が代理で手続をする場合でも、「基本情報」には必ず志願者本人の情報を入力するようにしてください。

● 出願書類および入学検定料の返還について

一度受理した書類およびお支払いいただいた入学検定料は、原則として返還いたしません。ただし、以下のケースに該当する場合は、入学検定料に限り全額または超過分を返還いたします。該当する方は本入学試験要項表紙記載のお問合せフォームまでお問合せください。なお、クレジットカードにより入学検定料を納入された場合、返還に伴い発生する手数料等は志願者の負担となります。

- 1) 入学検定料を所定額より多く支払った。
- 2) 入学検定料を支払ったが、出願書類は提出しなかつた。
- 3) 入学検定料を支払ったが、出願締切後に提出した。
- 4) 入学検定料を支払い、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により、出願が受理されなかつた。

4. 出願書類

I. 出願書類一覧

- ・各書類別の注意事項は「II. 出願書類作成にあたっての注意事項」で必ず確認してください。
- ・各書類は TAO 上にアップロードしてください。
- ・○：必須提出 △：任意提出 ◇：エリートコーチングコース志願者のみ必須提出 □：該当者のみ必須提出
☆：トップスポーツマネジメント・スポーツクラブマネジメント・健康スポーツマネジメント・介護予防マネジメントの志願者のみ必須提出

提出物	注意事項	区分
0 入学検定料収納書	TAO にアップロード。	○
1 志願票	TAO で入力。	○
2 研究計画書	[様式①]を使用すること。	○
3 研究業績書	[様式②]を使用すること。 研究業績がない場合は提出不要。	△
4 写真票	TAO にアップロード。	○
5 卒業（修了）証明書 または卒業（修了）見込み証明書	原本 をスキャンした PDF データを TAO にアップロード。 ※成績・卒業・修了証明書をあわせて提出しても可。編入学をした場合は編入学前の証明書も必須。 ※海外の教育機関出身者は、左記に相当する書類を提出すること。 ※ 大学院修了者は学部と大学院両方の証明書を提出すること。	○
6 成績証明書	TAO にアップロード。	○
7 履歴書	[様式③]を使用すること。	☆
8 社会人経験に関するレポート	[様式④]を使用すること。	☆
9 戸籍抄本	TAO にアップロード。 提出する証明書と姓名が異なる場合は必ず提出。	□
以下、エリートコーチングコース志願者のみ		
10 スポーツ競技(指導)歴・スポーツ競技(指導)実績に関するレポート	[様式⑤-1・2]を使用すること。	◇
11 技能向上に利用したデータ・資料とその結果に関するレポート	[様式⑥]を使用すること。	◇
12 トップレベルの選手(指導者)になる過程の内省レポート	[様式⑦]を使用すること。	◇
13 国際競技会における戦い方(戦術・戦略)に関するレポート	[様式⑧]を使用すること。	◇
14 実習計画書	[様式⑨A～D]を使用すること。	◇
15 研究指導担当教員志望理由書	[様式⑩]を使用すること。	◇

II. 出願書類作成にあたっての注意事項

注

- 出願の際に本研究科に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学試験の結果を無効とすることがあります。なお、その場合も提出された書類・資料等および入学検定料は返還しません。
- 各様式（以下、所定用紙）はすべて本研究科 Web サイトからダウンロードしてください。
- すべて TAO から提出してください。
- 文字は楷書、数字は算用数字で記入してください。
- 所定用紙の指定欄以外には何も記入しないでください。
- 所定用紙のフォーマットは変えないでください。出願不受理となる可能性があります。
- 出願書類は、戸籍に記載されている氏名を記入して提出してください。ただし、戸籍の氏名が旧字体であっても、通常略字体である常用漢字を使用している場合は、常用漢字で記入して結構です。
- TAO の出願が完了すると修正は一切できません。提出後の差し替えも対応致しかねますので、提出前に内容を十分に確認してください。
- 研究計画書等は、志望する研究科に自分自身について説明する機会となりますので、ご自身で作成してください。生成 AI を使用してこれらの書類を作成し、自分で書いたものとして提出した場合、不正行為とみなされる可能性や、選考上の評価に影響を及ぼす可能性があります。

志願票

- ・出願完了後の、志望領域・研究指導教員の変更は認めません。
- ・TAO に表示されている入力画面の指示に従って、正確に入力してください。

研究計画書 [様式①]

- ・TAO にアップロードしてください。
- ・志望動機、本研究科での研究課題、その課題について自身で勉強したこと、および入学後の研究予定を記入してください。これまでの研究活動、卒業論文等に関する内容も含めて記載してください。
- ・文字数は 4,000 字以内を厳守してください。ただし、引用がある場合で、使用文献等出典の記載は文字数に含みません。図・表を用いても結構です。（文字数には含みません。）
- ・「研究指導名」は、本研究科 Web サイトに掲載の「大学院スポーツ科学研究科研究指導内容」から確認してください。
- ・所定枠に収まらない場合は、適宜枠を広げて記入してください。

研究業績書 [様式②] ※任意提出

- ・TAO にアップロードしてください。
- ・「研究業績書」の作成要領・作成例を参考に作成してください。研究業績がない場合、提出不要です。
- ・学部の卒業研究論文は「研究業績」に該当しません。
- ・学術論文、著書、その他（学会発表等）の業績があり本用紙を作成する場合は、学術論文、著書、その他（学会発表等）の順、年月日順に記入してください。
- ・「専攻分野」欄には自分が研究をしている専攻分野名をわかりやすく記入してください。
- ・所定枠に収まらない場合は、適宜枠を広げて記入してください。

写真票

- ・TAO にアップロードしてください。
- ・写真票のアップロードは以下の注意事項に従って提出してください。

1. 出願時から 3 ヶ月以内に撮影したカラー写真（タテ 4cm:ヨコ 3cm の比率・上半身・正面・無帽・無背景・枠なし）をアップロードしてください。なお後述のとおり、入学手続時には出願時と同じ写真のデータ版をアップロードすることとなりますので、データは大切に保管しておいてください。
2. マフラー・サンダル・サングラスなどを着用したまま撮影された写真は受け付けません。ただし、医療上、宗教上の理由で帽子等を着用した写真を提出したい場合は、出願に先立ち、お問合せください。
顔写真は、試験当日の本人確認として使用しますので、スナップ写真等の不鮮明な写真や、髪型の違い等により個人の判

別・本人確認が困難な写真は受け付けません。

- 携帯電話等で個人が撮影・印刷された写真は受け付けません。必ず証明写真（スピード写真可）で撮影してください。
- 入学手続時に学生証用の写真を別途アップロードすることになりますが、その際は出願時と同じ写真を使用してください。なお入学手続時にアップロードした写真は学生証のほか、学内諸手続における本人確認および学内の各種 Web サービス等に本人情報として登録しますので、あらかじめご了承ください。



卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込み証明書

成績証明書

- TAO にアップロードしてください。
- 必ず証明書の原本をスキャンした PDF データを提出してください。
- 最新の成績が記載されているものを提出してください。
- 再発行不可の証明書を除き、入学試験実施日から起算して 6 か月以内に発行された証明書を提出してください。
- 編入学をした場合は編入学前の証明書も提出してください。
- 「卒業（見込み）証明書」と「成績証明書」が一体となっている証明書の場合は、1 枚での提出でも結構です。
- 大学院を修了された方は学部、大学院両方の証明書を提出してください。**
- 海外の教育機関出身者は、上記にそれぞれ相当する書類を提出してください。ただし、上記の各種証明書が日本語または英語以外の言語の場合は、必ず翻訳文を作成し（本人作成可）、大使館、公証役場もしくは所属大学等で翻訳公証印を受けて、提出してください。

在日本大使館等在日公館にて翻訳公証を行っていない国、地域もあります（例：中国など）。その場合は、本国の公証機関等にて翻訳公証を受ける必要がありますので、余裕をもって書類の手配を行ってください。特に中華人民共和国駐日本国大使館および領事館での取扱いは、2012 年 8 月 1 日より変更されましたのでご留意ください。

- 中国の大学または大学院を卒業（修了）した方について、卒業（修了）証明書の提出は次のように対応してください。

CHSI（中国高等教育学生信息網）から申請し、以下のいずれかの認証書を CSSD（CHESICC）から本研究科入試担当 (supoken-nyushi@list.waseda.jp) ヘメールで直送されるよう手配してください。手配完了後、手配した日付を TAO 上で入力いただきます。

- 既卒者 … 英文の「**Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate**」
- 卒業見込み者 … 英文の「**Online Verification Report of Student Record**」

詳細については CSSD（CHESICC）の Web サイト（<https://www.chsi.com.cn/en/>）を確認してください。必ず出願期間締切日までに本学へ認証書が届くよう、余裕を持って準備してください。CSSD（CHESICC）から直接メールで届く、英語版の認証書のみ有効とします。

- 外国籍の方で、休学・兵役等の期間がある場合はその旨を証明する大学または公的機関発行の証明書を提出してください。
- 外国籍の方で、飛び級または繰り上げ卒業により、飛び級した学年、理由などが成績証明書に記載されていない場合は、それ

を証明する所属の大学あるいは学部作成の書類を別途提出してください。

履歴書【様式③】

- ・TAOにアップロードしてください。
- ・社会人入試志願者は必ず提出してください。

社会人経験に関するレポート【様式④】

- ・TAOにアップロードしてください。
- ・社会人入試志願者は必ず提出してください。
- ・社会人経験について2,000字以内(厳守)にまとめて作成してください。
- ・所定枠に収まらない場合は、適宜枠を広げて記入してください。

戸籍抄本

- ・TAOにアップロードしてください。
- ・提出する証明書と出願時の姓名が異なる場合のみ必ず提出してください。

※10～15は、エリートコーチングコースに出願される方のみ必須の書類です。

- ・すべてTAOにアップロードしてください。

スポーツ競技(指導)歴・スポーツ競技(指導)実績に関するレポート【様式⑤-1・2】

- ・受験者自身が日本を代表して国際競技会に出場した等トップレベルのスポーツ選手になるまでの過程（指導者であれば選手やチームをトップレベルに育てた過程）を客観的に記述してください。

技能向上に利用したデータ・資料とその結果に関するレポート【様式⑥】

- ・受験者自身が技能向上のために利用した科学的データやトレーニングの根拠となる資料と、それらを利用した結果に関するレポートを作成してください。

トップレベルの選手(指導者)になる過程の内省レポート【様式⑦】

- ・受験者自身が日本を代表して国際競技会に出場した等トップレベルのスポーツ選手になるまでの過程（指導者であれば選手やチームをトップレベルに育てた過程）や、科学的データや資料を利用した際の受験者自身の内省について記述してください。

国際競技会における戦い方（戦術・戦略）に関するレポート【様式⑧】

- ・出場した国際競技会の一つもしくは複数を例に挙げ、その競技会における戦い方（戦術や戦略）に関して具体的に記述してください。

実習計画書【様式⑨A～D】

- ・作成要領を参考のうえ、「コーチングマネジメント論・実習」（A～D、計8単位）の実習計画を具体的に記述してください。

研究指導担当教員志望理由書【様式⑩】

- ・希望する研究指導教員（主担当／副担当および修士論文の主査／副査）に関する志望理由書を作成してください。

5. 選考方法

I. 選考

課程	入試種別	日程	集合場所	面接試験
修士課程1年制 (<u>秋期</u>)	一般入学試験	2025年10月4日(土)	東伏見キャンパス ※詳細は受験票で通知	午前10:00~
	社会人入学試験			
修士課程1年制 (<u>春期</u>)	一般入学試験	2026年1月24日(土)		
	社会人入学試験			

※ 志願者数が定員に対して一定の倍率を超えた場合、書類選考による第一段階選抜を実施する場合があります。

II. 受験に関する注意事項

- ・集合時間・場所の詳細は、受験票にてご案内します。
- ・携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ等の電子・通信機器の使用は一切厳禁とします。机上に置くことも認めません。
- ・「受験票」「筆記用具（黒の鉛筆・シャープペンシル、消しゴム等）」を忘れずに持参ください。「受験票」のない方は入場できません。
- ・試験開始20分前までに試験教室（集合場所）に入ってください。
- ・試験開始後20分を経過してからの入場は認めません。
- ・面接試験は1人15分程度を予定していますが、面接の進度・順番により終了時間が遅くなる場合があります。
- ・**試験当日は、面接試験会場での資料等の使用・持ち込み等を一切認めません。**
- ・受験時の交通・宿泊については各自で手配してください。

6. 合格発表

I. 合格発表日時

課程	最終合格者発表
修士課程1年制（秋期）	2025年10月17日(金) 午前10:00~
修士課程1年制（春期）	2026年1月30日(金) 午前10:00~

※志願者数が定員に対して一定の倍率を超えた場合のみ、次の日程で書類審査合格者発表を行います。

・秋期：2025年9月26日(金) ・春期：2026年1月9日(金)

II. 合格発表方法

TAO上において発表します。

1. 「出願一覧」から本入試を選択してください。
2. 「選考状況を確認する」をクリックして合否を確認してください。

III. 注意事項

電話、メール等による合否に関するお問合せには一切応じません。

7. 入学手続

I. 入学手続

次の（1）～（3）の手続を所定の期間内に行なうことで完了します。期間経過後の入学手続は一切認めませんので、十分注意してください。入学手続の方法、提出書類の詳細等については、最終合格者に合格発表時の連絡事項または TAO のメッセージ機能を使用して案内予定です。書類の郵送は予定しておりませんので注意してください。

（1）入学手続情報の入力 <UCARO 入学手続>

UCARO の会員登録・出願連携（最終合格者にご案内予定）後、2026 年 2 月 1 日以降に入力してください。それより前には入力ができませんので、ご注意ください。

入学手続情報の入力締切日：2026 年 3 月上旬を予定

（2）入学諸費用の納入

入学金と春学期の学費を一括で振込いただきます。締切日以降の振込は一切できません。振込用紙は UCARO に会員登録・出願連携後に確認できる合否照会画面からダウンロードおよび印刷をしてください。なお、ATM（現金自動預払機）、インターネットバンキング、モバイルバンキング等からの振込は認めませんので注意してください。

納入締切日：2026 年 3 月上旬を予定

（3）入学手続書類の提出

住民票の写し、卒業証明書等を郵送していただきます。入学手続の手引きに従い、定められた期日までに提出してください。

手続書類郵送締切日：2026 年 3 月上旬を予定

【重要】合格証明書・振込用紙のダウンロード・印刷方法について

最終合格者は、受験ポータルサイト「UCARO」上で所定の手続（UCARO 新規会員登録・出願連携）をすることにより、合格証明書や振込用紙等を UCARO からダウンロードおよび印刷することができます。具体的な手順については、合格者へ案内される入学手続関連書類を確認してください。

II. 学費・諸会費

早稲田大学 Web サイト（<https://www.waseda.jp/top/about/disclosure/entrance-fee>）にて公開しております。

2026 年度の項目を確認してください。2026 年度の項目が公開されていない場合、前年度の項目を参考として確認してください。なお、学費は今後改定されることがあります。

※本学の学部、大学院、専攻科の卒業、修了または退学者が再度本学に入学する場合、入学金が免除されます。詳細については、合格者に送付される「入学手続の手引き」をご参照ください。

※スポーツ科学部、人間科学部（2002 年度以前入学者に限る）、スポーツ科学研究科のいずれかに正規生として在籍していた者は、学会入会金は免除となります（科目等履修生として在籍していた者は免除対象外）。

※一度提出した書類および納入した入学金（登録料）、学費・諸会費（春学期分）は、原則として返還しません。ただし、やむを得ない事情により入学を辞退する場合や、入学までに入学資格を満たさなかった場合には、入学金（登録料）を除く、学費・諸会費（春学期分）のみ返還の対象となります。手続方法等、詳細は、合格者に送付される「入学手続の手引き」をご参照ください。

8. 早稲田大学入学試験受験に際しての注意事項

本学では、入学試験を厳正に実施し、全ての受験者が公平・公正に受験できるよう、以下の注意事項を定めています。本学入学試験の受験に際しては、この注意事項を熟読のうえ、真剣な態度で試験に臨んでください。

1. 出願の際に本学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為となることがあります。

2. 次のことをすると不正行為となることがあります。

- ①カンニングをすること（試験時間中にカンニングペーパー・参考書等を隠し持つ・使用する、他の受験者の答案等を見る、他人から答えを教わる、身体、物品、机などにメモをする、メモを見るなど）。
- ②試験時間中に、答えを教えるなど他の受験者を利用するような行為をすること。
- ③試験時間中に携帯電話等を身に付けること、使用すること。
- ④試験時間中に携帯電話等や時計の音（着信・アラーム・振動音など）を鳴らすこと。
- ⑤試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑥試験場において監督員等の指示に従わないこと。
- ⑦志願者以外の者が志願者本人になりますまで試験を受けること。
- ⑧その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

3. 不正行為の疑いがある場合、次のような対応をとることができます。これらに応じない場合、不正行為を自認したものとみなします。

- ・監督員等が注意をする、または事情を聞くこと。
- ・別室または別席での受験を求めるこ。
- ・本学に提出された書類・資料・論文および提供された情報等（「本提出書類等」といいます。）につき、その真正性等について、本学が発行元・提供元および論文審査機関等に対して、本提出書類等を提供して問合せをすること。出願者は本提出書類等を本学に提出または提供したことをもって、本学がこの問合せを行うことに同意したものとする。

4. 不正行為と認められた場合、次のような対応をとることができます。

- ・当該年度における本学の全ての入学試験の受験を認めないこと（入学検定料は返還しない）。
- ・当該年度における本学の全ての入学試験の結果を無効とすること。なお、入学後に不正行為と認められた場合は、本学規程に基づき入学取消の対象となることがあります。

大学が極めて悪質かつ重大であると判断した不正行為については、警察への通報や不正行為者の【在籍（出身）大学】・保護者等への報告を行う場合があります。

9. 早稲田大学入学試験受験に際しての免責事項

本学では、入学試験の実施に際し、以下のような対応をとることがあります。あらかじめご了承ください。

◆受験環境について

可能な限り公平・静粛な受験環境の確保に努めますが、やむを得ず以下のような対応をとることがあります。

- ① 生活騒音（航空機・自動車・風雨・空調の音、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をする音、携帯電話等の鳴動など）が発生した場合でも、原則として特別な措置は行いません。また、試験中に監督員が小声で必要最低限の打ち合わせを行う場合がありますが、この場合も原則として特別な措置は行いません。
- ② 試験中に携帯電話や時計等の音・振動などが発生し、発生源の荷物などが特定できた場合、持ち主の同意なく監督員が試験場外に持ち出し、試験本部で保管すること、あるいは荷物の中から携帯電話・時計等を取り出し鳴動停止の操作をすることがあります。
- ③ 机、椅子、空調、音響設備等の試験教室による違いは一切考慮しません。
- ④ 他の受験者が迷惑と感じる行為がある場合、別室または別席での受験を求めることがあります。

◆不可抗力による事故等について

台風、地震、洪水、津波等の自然災害または火災、停電、その他不可抗力による事故等や交通機関の乱れが発生した場合、試験開始時刻の繰下げ、試験の延期等の対応措置をとることがあります。なお、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については一切責任を負いません。

◆感染症について

- ・基本的な感染予防対策（手洗い等の手指衛生や咳工チケット等）を徹底してください。なお、本学ではマスクの着用は個人の判断に委ねます。
- ・学校保健安全法で出席の停止が求められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、風疹等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督員への感染の恐れがあるため、受験をご遠慮ください。
- ・上記に該当しない場合でも、試験当日までに発熱等の症状がある場合は、かかりつけ医等に相談のうえ、当日の受験を見合わせる等、その指示に従ってください。
- ・欠席した場合でも、本学が特別な対応を公表した場合を除いて、追試験の実施や検定料の返還は行いません。

10. 試験時間中に使用できる物品・使用を認めない物品について

試験時間中に使用できる物品は下表の通りです。なお、不正行為防止のため、下表に記載の物品を使用している場合でも、使用物品や身に着けている物品を監督員が確認させていただく場合があります。また、文房具・時計等の貸し出しありませんので、必要な物品は各自で忘れずに持参してください。

I. 試験時間中に使用できる物品

物 品	注 意 事 項
鉛筆 シャープペンシル	H B (黒) のみ使用を認めます。
プラスチック消しゴム	砂消しゴムの使用は認めません。
時計	試験教室に時計は設置していませんので、必ず各自で持参してください。 ただし、以下に留意してください。 ・秒針音のするものは周囲の受験者の迷惑となる可能性があるため、使用を認めません。 ・辞書・電卓等の、時計・計時以外の機能のあるものは、使用を認めません。 ・通信機能のあるものは、それが電波を発しない状態であっても使用を認めません。 ・スマートフォン・スマートウォッチ等を時計として使用することは認めません。 ・キッチンタイマー・学習タイマーの使用は認めません。 ・携帯電話等を時計として使用することは認めません。 ・試験時間中に時計のアラーム音等が鳴った場合、不正行為となることがあります。 ・他の受験者の迷惑になる可能性や試験の円滑な実施に支障をきたす、または不正行為につながると監督員が判断した場合、使用を認めない場合があります。
眼鏡	写真撮影の際に一旦外していただくことがあります。
マスク	写真撮影の際に一旦外していただきます。ただし、文字や地図等がプリントされているものは使用を認めません。
フェイスシールド	シールド部分が無色透明のものに限り使用を認めます。ただし、文字や地図等がプリントされているものは使用を認めません。
ティッシュペーパー	袋または箱から中身だけ取り出して使用してください。
ハンカチ、ハンドタオル、座布団（クッション）、ひざ掛け	文字や地図等がプリントされているものは使用を認めません。
目薬・点鼻薬	試験時間中は机上に置かず各自のかばんの中にしまっておき、使用する場合は監督員に申し出てください。
鉛筆削り	他の受験者の迷惑にならない範囲で使用を認めます。
ビニール手袋	無色透明のものに限り使用を認めます。

※サポーター、テープ、包帯、湿布、ギブス、眼帯、コルセットを着用したまま受験することはできますが、試験時間中に着脱する場合は、監督員に申し出て許可を得てください。

II. 試験時間中に使用を認めない物品

前表「試験時間中に使用できる物品」以外の物品の使用は原則として認めません。机上に置いている場合や使用した場合は、不正行為とみなされる場合があります。以下は「試験時間中に使用を認めない物品」の一例を示します。

物 品	注 意 事 項
通信機能のある電子機器（携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ、スマートグラス等）	電源を必ず切ってかばんの中にしまってください。 ※時計としての使用も認めません。 ※試験時間中にかばんの中にしまっていなかった場合には、受験者の故意・過失に関わらず、その電源が切られている状態であっても、原則として不正行為とみなします。
その他通信機能のない電子機器（電卓・電子辞書・音楽プレーヤー・ICレコーダー・イヤホン等）	電源を必ず切ってかばんの中にしまってください。
耳栓	監督員の指示が聞こえない可能性があるので使用を認めません。
飲食物	ペットボトル飲料、飴、ガム等を含みます。
鉛筆・シャープペンシル以外の筆記具（ボールペン、蛍光ペン、赤ペン等）、筆箱	

補聴器、帽子、バンダナ、車椅子等	障がい等により使用を必要とする場合は、出願に先立ち、はじめに記載の通り申請を期限までに行う必要があります。また服に付いているフードを被ることも帽子に相当するものとして認めません。
手指用消毒液等の除菌用品	試験中はかばんの中にしまってください。

III. 試験時間中の服装

本文字や地図等がプリントされている衣服の着用は認めません。着用している場合は、脱衣や裏返しでの着用を求める場合があります。

1 1. 教諭専修免許状（保健体育）の取得について

本研究科入学前に中学または高等学校教諭一種免許状(保健体育)を取得されている方、または教育職員免許法の5条別表第一の所要資格を充たしている方は、本研究科設置科目の中から所定の科目を24単位以上取得し、修士の学位を得ることにより専修免許状(保健体育)が取得できます。

1 2. 在留資格「留学」の取得について

本学への入学を許可された外国学生は、在留資格「留学」を申請することができます。「留学」の在留資格を有する学生は、外国人留学生授業料減免や留学生対象奨学金を申請することができます。「留学」以外の在留資格でも入学することはできますが、上記のような留学生対象の各種補助制度は利用できませんのでご了承ください。「短期滞在」の在留資格で大学に在籍することはできませんので注意してください。

手続の詳細は以下の Web サイトを参照してください。

[入学前の方へ | 早稲田大学 | 在留資格・VISA に関するサイト](#)

【重要】出願時点で在留資格を有していない場合

最終合格者は、在留資格の申請が必要となります。詳細な手続は上記 Web サイトに記載されていますが、申請から取得まで 2 か月～3 か月程度を要しますので、早めに申請してください。なお、春期入試は合格発表から入学まで 2 か月を切っており、入学までに在留資格の取得が間に合わない可能性があるため、申請期間に余裕のある秋期入試での出願を推奨します。

1 3. 入国前結核スクリーニング制度について

対象者は在留資格認定証明書（COE）の申請時に、通常の申請書類に加えて、結核を発病していないことを証明する「結核非発病証明書」の提出が追加で求められます。

対象国の詳細や必要な手続等については、以下の Web サイトを参照してください。

[Details of the "Japan Pre-Entry Tuberculosis Screening \(JPETS\)" / 「入国前結核スクリーニング」制度の詳細 - Center for International Education, Waseda University](#)